

UK ビザおよび入国申請に使われる英語能力証明テスト - よくあるご質問

英国政府は、ビザおよび入国申請用に使われる英語能力証明テスト「Secure English Language Testing (以下 SELT)」の新要件を確定しました。SELT は多数のカテゴリーのビザ申請のために必要なテストですが、このほどテストの実施方法に関する要件が追加され、SELT リストにあるテストの数が減らされることになりました。

これに伴い、Cambridge English を含む英語試験提供機関にも影響が出ています。

どのカテゴリーの英国ビザ申請に際しても、英語力の証明が必要な申請者は、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)レベル B1 (IELTS スコア 4.0) 以上の IELTS スコアを利用できます。

また、「話す力」と「聞く力」が CEFR のレベル A1 および B1 であることを証明する必要のある申請者のために特別に設計された新しいテスト「*IELTS Life Skills*」テストが導入される予定です。

ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP:IELTS オーストラリアが共同運営で保有する IELTS は、Cambridge English によって作成されています。

以下、2015 年 4 月 6 日以降の変更をお示し致します。

1. 英国ビザおよび入国申請のためには Secure English Language Test (SELT) のリストにある英語の資格のうち、どの Cambridge English の試験を受験すればよいですか？

英国ビザおよび入国申請の際は英国内務省が発表している Secure English Language Test (SELT) のリストにある英語の資格を提出することが必要とされています。

英国政府は、ビザおよび入国申請用に使われる英語能力証明テストの Secure English Language Testing (以下 SELT)の新要件を発表しました。この要件により、SELT リストにあるテストの数が絞られることになりました。

「*IELTS*」そして私どもが新たに開発した「*IELTS Life Skills*」テストの両方が改訂された SELT リストに含まれています。*IELTS* および *IELTS Life Skills* は、英国ビザと入国申請用に最適なテストです。英語圏で成功を収めるのに必要とされるスキルを受験者が備えていること、異なるコンテキストの中でも言語を有効に使えるかについて、確実に測るよう設計されています。ケンブリッジ大学英語検定機構、ブリティッシュ・カウンシル、IDP:IELTS オーストラリアが共同運営で保有する IELTS は、Cambridge English によって作成されています。*IELTS* は 25 年の歴史を持ち、現在 9,000 以上の機関によって認定されているテストです。

IELTS Life Skills は、スピーキングとリスニングの英語能力のみを証明する必要がある受験者のためのテストで、CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠) で示される A1 レベルと B1 レベルに相当する 2 つのテストがあります。

2. どのカテゴリーのビザに影響があるのでしょうか。私は、SELT リストにある試験を受験しなければなりませんか？

この度の変更は、数多くのビザや入国申請に影響します。

SELT の試験が必要かどうか、求められているレベルやテストの種類などを調べるには、英国ビザ・イミグレーション(UKVI)や、英国大使館またはそれに準じる機関にお問合わせ下さい。より詳しい情報は、UKVI の Web サイトをご覧ください。

<https://www.gov.uk/government/publications/guidance-on-applying-for-uk-visa-approved-english-language-tests>

目安として次の表を参照下さい

Visa description	Minimum CEFR level required	Skills	IELTS test and minimum score required overall and in each skill ¹
Tier 1 (General) visa	C1	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 7.0 overall, and in each of the four skills
Tier 1 (Exceptional Talent) visa	B1	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 4.0 overall, and in each of the four skills
Tier 1 (Entrepreneur) visa	B1	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 4.0 overall, and in each of the four skills
Tier 1 (Graduate Entrepreneur) visa	B1	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 4.0 overall, and in each of the four skills
Tier 2 (General) visa	B1	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 4.0 overall, and in each of the four skills
Tier 2 (Sportsperson) visa ²	A1	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 4.0 overall, and in each of the four skills
Tier 2 (Minister of Religion) visa	B2	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 5.5 overall, and in each of the four skills
Tier 4 (General) student visa - below degree level	B1	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 4.0 overall, and in each of the four skills
Tier 4 (General) student visa - degree level and above and including some pre-sessional courses ³	B2	Reading, Writing Speaking, and Listening	IELTS - 5.5 overall, and in each of the four skills

Cambridge English

'Family of a settled person' visa	A1	Speaking and Listening	IELTS Life Skills at A1 – Pass ⁴ IELTS – 4.0 in Speaking and Listening
Indefinite leave to remain (to settle) or citizenship ⁵	B1	Speaking and Listening	IELTS Life Skills at B1 – Pass IELTS – 4.0 in Speaking and Listening

¹ General Training Module と Academic Module のどちらも認定されます。すべてのスキルで CEFR の要件を満たす必要があります。

² UKVI では 4.0 以上の IELTS スコアを認めています。これは CEFR のレベル B1 に相当します。

³ UKVI に [Tier 4 Sponsors](#) として認められた大学は、SELT が要件でない場合に英語力の証明として認めるテストを決めることができます。**このテストには、Cambridge English (ケンブリッジ英検) : Advanced や Proficiency が含まれる可能性があります。**

⁴ IELTS を IELTS Life Skills の代わりに利用することができます。受験者、スピーキングとリスニングで 4.0 以上のスコアが必要です。(リーディングとライティングのスコアは無視されます。)

⁵ 現在、UKVI はこれらのビザ申請において英国政府が発表する SELT のリストにある試験または英国政府の資格試験調整局 Ofqual (Office of Qualifications and Examinations Regulation) 認可のテストを認定しています。テストの内容は B1 レベルのスピーキングとリスニングが含まれたものでなければなりません。

なお、Ofqual テストには、**Cambridge English: Preliminary, First and ESOL Skills for Life entry 3 が含まれています。**

今回の変更は、EU (欧州連合)、EEA (欧州経済地域) やスイスおよび「英語が主な言語として使用されている国」として英国内務省 (<https://www.gov.uk/english-language>) が定義している国の申請者が Cambridge English の試験を使う際には、何ら影響を与えるものではないことにご留意下さい。

3. 新しい手続きはいつから有効になりますか？

新しい手続きは、2015 年 4 月 6 日から有効となります。

IELTS および IELTS Life Skills の試験日は 3 月に発表されます。

3 月 26 日 - 英国ビザおよび入国申請を目的とした IELTS および IELTS Life Skills の申込み開始

4 月 5 日 - 英国ビザおよび入国申請を目的として、現行の SELT List の試験を受験する場合の最終日

11 月 5 日 - 4 月 5 日までに受験した試験結果でビザ申請をできる最終日

2015 年 4 月 5 日以前に受験した試験結果 (スコア) であれば、2015 年 11 月 5 日までビザおよび入国申請に利用できる試験

- *Cambridge English: Key*
- *Cambridge English: Preliminary*
- *Cambridge English: First*
- *Cambridge English: Advanced*
- *Cambridge English: Proficiency*
- *Cambridge English: Business Certificates*
- *Cambridge English: Legal*
- *Cambridge English: Financial*
- *Cambridge English: ESOL Skills for Life*

ほとんどの英国の大学やカレッジに学士以上の学位取得を目的に Tier 4 ビザを申請する場合には、この変更は該当しません。

また、この変更は、EU（欧州連合）、EEA（欧州経済地域）やスイスおよび「英語が主な言語として使用されている国」として英国内務省 (<https://www.gov.uk/english-language>) が定義している国からの申請者には該当しません。

4. ケンブリッジ英検を英国の大学の入学やビザ申請に引き続き使うことはできますか？

Tier 4 学生ビザを申請する場合には、次の条件を満たせば、引き続き Cambridge English（ケンブリッジ英検）の試験を利用できることにご留意下さい。

- UKVI にスポンサーとして登録されている高等教育機関は、学士以上の学位取得を目的とする出願の際に英語力の証明として認めるテストを決めることができます。

従って、**Cambridge English: Advanced や Cambridge English: Proficiency を含む Cambridge English の試験が認められている場合、大学の学士以上の学位取得を目的とする出願に認定試験センターで受験した試験結果を引き続き英語力の証明としてお使い頂くことができます。**

- EU（欧州連合）、EEA（欧州経済地域）やスイスからの申請者は、Tier 4 学生ビザを必要としません。従って、大学基礎コース、学部コース、大学院コース入学のための英語力の証明として、引き続き Cambridge English の試験を認定している大学への出願にお使い頂けます。

5. すでに Cambridge English の試験を受験済みです。試験結果はいつまでビザ申請に使えますか。

2015年4月5日までに受験した試験であれば、2015年11月5日までビザ申請にお使い頂けます。